

おわりに

以上、群馬県立ぐんま昆虫の森の甲虫標本コレクションについて紹介したが、最後に現状の課題について少し述べたい。まず、標本整理やデータ登録などの標本管理にほとんど時間が取れないことである。標本管理の担当職員は1名であり、昆虫飼育や各種プログラム対応、事務作業等の業務の合間を見ながら時間のあるときに細々と作業を行っている状態である。標本整理に関しては概ね分類群毎にソーティングされているものの、甲虫類のデータ登録に関してはコレクション全体の1%にも満たない。鱗翅目についてはチョウや蛾に詳しいボランティアに協力していただきながら、整理やデータ登録を進めているが、甲虫類をはじめその他の分類群については協力者が見つかっておらず、同定やデータ登録が進んでいない。また、多くの施設と同様に収蔵スペースが少なくなっている。このような状況であるが、今後も地域の昆虫に関する中核施設として群馬県内の資料を中心に収集を進めていきたいと考えている。

謝辞

リョウモウナガゴミムシのパラタイプ標本を寄贈していただいた須田亨氏、故八坂允氏のコレクションを寄贈していただいた八坂翠氏、八坂コレクションを整理するとともに本園への寄贈に御尽力いただいた金井直樹氏、それから、執筆の機会を与えていただいた福井大学の保科英人博士および倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士に御礼申し上げます。

引用文献

- 茶珍 護, 2015. 群馬県産流水性甲虫類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 231-249.
- 堀口 徹, 2009a. 故八坂允氏採集の群馬県産食葉性コガネとクワガタ類. 乱舞, (18): 121-123.
- 堀口 徹, 2009b. 堀川正美氏同定の故八坂允氏が群馬県で採集したゾウムシ類. 乱舞, (18): 124-127.
- 金井直樹, 2009. 故八坂允コレクションの甲虫—その1—. 乱舞, (18): 60-99.
- 金井直樹, 2010. 八坂允コレクションの甲虫—その2—. 乱舞, (19): 42-91.
- 金井直樹, 2011. 八坂允コレクションの甲虫—その3—. 乱舞, (20): 15-92.
- 金井直樹, 2014a. 故八坂允氏採集の甲虫—その4—(ジョウカイボン科). 乱舞, (22): 24-32.
- 金井直樹, 2014b. 八坂允コレクションの甲虫(番外編) 八坂允コレクションのハネカクシ. 乱舞, (22): 33-52.
- 金杉隆雄, 2012. 群馬県立ぐんま昆虫の森の昆虫コレクション. 昆虫と自然, 東京, 47 (8): 24-27.
- Morita, S. & T. Suda. 2007. A new pterostichine carabid beetle from Kwanto, central Japan. Elytra, Tokyo, 35 (1): 287-293.
- 村田元彦, 2011. 栗原明雄氏同定の故八坂允氏が群馬県で採集したヒメハナカミキリ属 (*Pidonia*). 乱舞, (20): 121-124.
- 村田元彦, 2012a. 栗原明雄氏同定の故八坂允氏が群馬県で採集したヒメハナカミキリ属 (*Pidonia*) II. 乱舞, (21): 33-36.
- 村田元彦, 2012b. 故八坂允氏採集の群馬県カミキリムシ. 乱舞, (21): 37-58.
- 大川秀雄・内山裕司, 2006. 昆虫目録(トンボ目・チョウ目を除く). 館林市史資料目録, たてばやしの動植物—目録および調査基礎資料集—, pp. 155-219. 館林.
- 須田 亨, 2009. 故八坂允氏採取の歩行虫類. 乱舞, (18): 100-109.
- 渡辺 崇, 2009. 故八坂允氏採集群馬県産ハネカクシ科目録. 乱舞, (18): 110-120.

(2020年4月10日受領, 2020年5月10日受理)

【短報】チャイロマルガタテントウダマシの愛知県および岐阜県における記録

チャイロマルガタテントウダマシ *Dialexia niisatoi* Narukawa, 2017 (Fig. 1) は、東京都稲城市の標本を



Fig. 1. チャイロマルガタテントウダマシ.

基に記載された体長1.5 mmほどのマルテントウムシダマシ科の甲虫である。本種が属する *Dialexia* 属は触角が9節で前胸背板に側溝がないことなどからマルテントウムシダマシ科の他属から識別され(佐々治, 1980), 本邦においては *D.*

niisatoi の他にベニモンマルガタテントウダマシ *D. hisanoi* Sasaji, 1978 が知られる。両種の区別点は, *D. niisatoi* は上翅が暗い茶色で紋はなく, その長さは2枚合わせた幅と等しいのに対し, *D. hisanoi* は上翅が暗い黒褐色で赤褐色の縦紋を持ち, その長さは2枚合わせた幅より短い点である(Narukawa, 2017). これまでのところ本種の記録は原記載以降知られていないようであるが, 筆者らは愛知県および岐阜県において採集しているので報告する。

本報告に使用した標本のうち, 「ONO.」で示したナンバーは大野コレクションの登録番号で, このナンバーを記した標本は, 大野のもとに保管されていることを示す。